

踏み跡 <My Mountains>

九州	佐賀県で一番低い山(櫻ヶ岡)	No.331
----	----------------	--------

<踏み跡 No.330 から続く>

平成 27 年 12 月 14 日

カーナビゲーションを佐賀県小城（おぎ）市の小城公園にセットして出発。和白（わじろ）・香椎経由で福岡都市高速道路に入り、水城（みずき）で 3 号線に降りて左右の山なみを楽しみながら鳥栖（とす）へ。東西南北に走る高速道路の交点になった巨大な鳥栖 IC から長崎自動車道に入り、脊振（せふり）山南部の緩やかな傾斜を右手に見ながら佐賀平野へ。

快晴の空の下に広がる佐賀平野の向こうに天山（てんざん）から多良の山なみまでがうかがえる。

佐賀大和 IC で下りて小城・牛津方面への道に入るともう静かな町並に入ってしまう。広い平野の中の僅かな起伏である櫻ヶ岡はすぐにわかった。小城公園の駐車場に 12 時 05 分到着。平日の昼間で人影はない。

小城藩の初代藩主鍋島元茂が鯖岡（沙婆岡）と呼ばれる小さな丘に櫻を植えて茶屋を設けたのが始まりで、のちに櫻岡と名付けられた。後年池水・邸閣が配されて櫻の名勝となり、その美しさは朝廷にも聞こえ、後西院天皇の御製の詠歌も賜ったったとのこと。

南北に長い小城公園は南側に大きな池が二つあり、北側が山になっており最高点は一番北にある鳥森稻荷神社にあるようだ。

まずは池の畔から岡山神社へ上がり、境内を北進すると少しずつ高度を増していく。築山をいくつも越えて

鳥森稻荷神社を抜けると、石段が待ち構えていた。石段を上り切ると、何やらうやうやしき石碑が立つ櫻ヶ岡の最高点（海拔 41m）に辿りついた。時計を見ると 12 時 20 分、おなかも空いてきた。石碑は後西院天皇の御製の歌を記念するもののようだが、文字が判読しにくい状態。北側には天山・彦岳の稜線が間近に見られ、東側には佐賀市南部の広大な平野が広がるなかなかの景色。駐車場に戻ったが付近にお店は一軒もない。これから大分まで行って夕暮れまでに一山登って、博多



のニッポンレンタカーへ 20 時 30 分迄に車を返せるだろうか？時間的には微妙なタイミングだが、いちかばちか強行することにした。腹は減っているが付近に店がないので我慢して、12 時 50 分に出発。

以上